

学校だより（後期学校アンケート結果号）

令和2年3月
京都市明徳小学校
校長 岡本 雅文
TEL 701-0111

後期学校アンケート集計結果概要

1月に行いました学校評価の集計結果および分析が整いましたので、ご報告いたします。

前期と同じ項目でアンケートを行いました。前期でもお伝えをしましたが、昨年度より学校アンケートは、保護者・児童・教職員の3者がそれぞれの視点から、確かな学力（知）・豊かな心（徳）・健やかな体（体）の3つの観点で子どもとの関わりを確かめあえるようにし、それぞれの立場で取組やかかわりを振り返るような内容としています。したがって、3つの観点から、児童の実態を明らかにし、本校の教育の取組に生かしていきたいと考えています。

今回、保護者の皆様からは、505枚（回収率84.9%）の回答をいただきました。毎回、お忙しい中、たくさんの方々にご協力をいただき、本当にありがとうございます。記述欄においても、いつも多くのお言葉を頂戴しています。感謝いだくお言葉をたくさんありがとうございます。しかし、不十分な点もあり、早急に見直さなければならない指摘もありました。いただいたご意見は、教職員の年度末反省の中で、ご指摘内容を共有化し、反省すべきはしっかりと見直し、よりよい教育を求めて次年度に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。後ほど、記述いただいたご意見についてもご報告いたします。

【資料1】は、児童の実現度を表しています。

実現度評価は、すべて5を超えている結果から概ね満足できる状況です。全体の傾向としては変わはないところではあります、残念ながら前期より、多くの項目で実現度が下がりました。選択肢の傾向をみてみると、「できていない」と答えていた児童は減っています。しかし、「よくできている」と答えていた児童も減り、「大体できている」「あまりできていない」という項目が増えています。全体としては、ある程度できている、少しくらい、といった評価に集まつたことが、実現度が下がったことにつながっていると思われます。中でも、

「3 学校や家で本を読んでいる」 「8 自分からすすんで、あいさつをしている」

「9 すすんでスリッパやはきものをそろえている」 「14 外遊びなどすすんで体を動かしている」

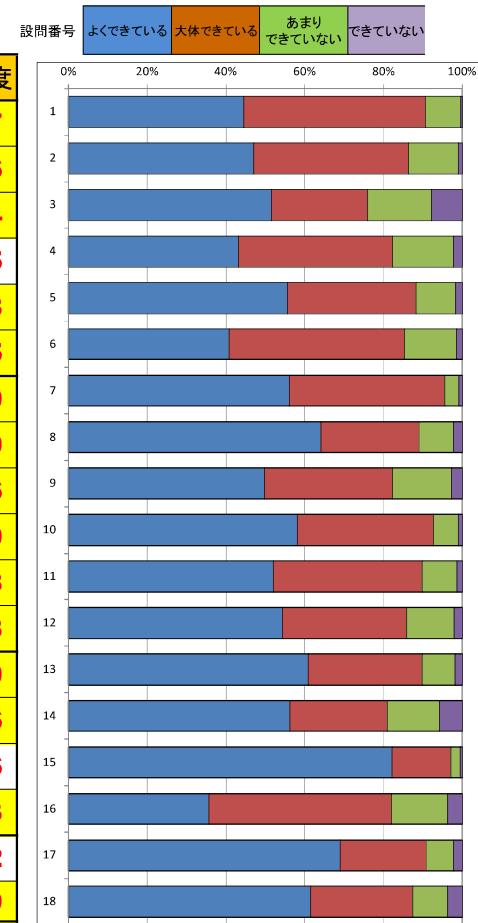
4項目がO. 3~O. 4ポイント下がりました。「14」の外遊びは寒い時期なので、外に出にくくなっているのではないかと考えられますが、重点をおいて取り組んできているところが下がっていますので、大変残念な思いでいます。それでも、あいさつなどは、たいへん高い実現度でしたので、下がっても高い評価は維持できていますが、取り組み方を見直さなければならないと考えています。

実現度が「6」を超えていた項目は、6項目あり、その中でも、「15 交通ルールを守って安全に登下校している」

「17 楽しく登校している」は変わらず高い評価を維持できています。評価としては、うれしいことですが、一部に横着な子どもや登校に対するしつけをしていますので、一人ひとりにしっかりと視点をあてて、取組を進めていきたいと考えています

【資料1】R1 後期児童の実現度

		児童				実現度	
		よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない		
知	1	めあてにむかってすすんで学習に取り組んでいる。	226	233	46	2	5.7
	2	わかるまでねぱり強く学習に取り組んでいる。	263	221	70	6	5.6
	3	学校や家で本を読んでいる。	289	137	91	44	5.4
	4	自分の考えを話したり書いたりして相手に伝えている。	242	220	86	13	5.5
	5	宿題や家庭学習にすすんで取り組んでいる。	312	183	57	9	5.8
	6	先生や友達の話をしっかりと聞き、よい姿勢や態度で学習に取り組んでいる。	229	249	75	8	5.5
徳	7	学校や家庭のルールを守っている。	315	222	20	5	6.0
	8	自分からすすんで、あいさつをしている。	360	140	49	13	6.0
	9	すすんでスリッパやはきものをそろえている。	279	182	84	15	5.6
	10	人の嫌がることをしたり、言ったりしていない。	325	194	35	6	6.0
	11	言葉づかいに気をついている。	292	213	49	8	5.8
	12	苦手なことにも挑戦しようとしている。	305	177	67	12	5.8
体	13	給食を好き嫌いせず、食べている。	341	162	47	10	6.0
	14	外遊びなど、すすんで体を動かしている。	315	138	74	33	5.6
	15	交通ルールを守って安全に登下校している。	461	84	13	3	6.6
	16	早寝早起きなど1日の生活リズムを大切にしている。	200	261	80	21	5.3
自由	17	楽しく登校している。	387	123	38	13	6.2
	18	先生に、気軽に話しかけることができる。	345	146	49	21	5.9



学校だより（後期学校アンケート結果号）

【資料2】は保護者・教職員の実現度に児童の実現度を高学年と低学年に分けて一覧にしたもの。

今までの傾向と同じように、低学年の方が、すべてにおいて高学年より実現度が高い現状は変わりません。低学年においては、「5 宿題や家庭学習にすすんで取り組んでいる」「17 楽しく登校している」の2項目で実現度が、0.1ポイント高まりました。学校として大切にしている点が高まっていることは、うれしいことです。しかし、「3 学校や家で本を読んでいる」「8 自分からすんで、あいさつをしている」「9 すんでスリッパやはきものをそろえている」の3項目では、特に高学年の落ち込みが大きい結果となりました。それでも、実現度は「5」を超えていたり、あいさつなどは下がったとはいえ、5. 9の実現度ですので、多くはできていることとなります。しかし、下がった現状を受け止め、今後の取組で改善できるようにしていきたいところです。

【資料3（次ページ）】は、保護者・児童・教職員の実現度を比較したものです。

各自が、子どもに対してどのような関わりができるのかを確認することで、児童の実現度との関連を見るようにしています。よって、学校アンケートの機会を通じて、教職員はもちろん、保護者の方も子どもとのかかわりや学校とのかかわりについて振り返っていただける機会にしていただければという思いも含めた文言としています。

全体の結果としては、例年通り児童の実現度が最も高く、それに対して、保護者・教職員の実現度は少し厳しい評価を下しています。子どもの実現と教職員の実現度が近づいている傾向は継続しているようです。保護者の評価の中には、飛躍的に高まっているところもありますので、教職員と保護者が同じような傾向を示すようになってきています。児童の姿を核にして、共通理解できていることが増えてきたと思える結果となっています。

保護者の評価よりも教職員の評価の方が少し高いという傾向は、前期と大きく変わっていません。児童の実現度は全体的に少し低下傾向でしたが、保護者は教職員は、どちらかというと少し上向きの傾向です。

保護者の実現度は、児童の実現度と大きな開きがでた「8 挨拶の習慣」「10 思いやりの心」「19 学校との連携」は飛躍的に実現度が高まりました。少し安心するとともに、同じような視点で取り組んでいただいていることやその成果が子どもの姿につながっているととらえられるかと思います。

【資料4（次ページ）】は、保護者と教職員のニーズ度を比較しています。

保護者と教職員との重要度に大きな違いがあるものは、「3 読書の習慣」「13 バランスの食事」「20 地域連携」「21活動参加」となっています。「3 読書の習慣」では、前期でもニーズ度が高い項目の一つでした。なかなか実現度が上がっていないのが実情となっています。

【資料2】 R1 3者後期実現度比較

1 知	意欲的な学習	子どもがめあてにむかって進んで学習に取り組めるように見守り、励ましている。
2 知	学習への粘り	子どもがねばり強く学習に取り組めるよう見守り、励ましている。
3 知	読書の習慣	子どもが家で本を読むよう勧めている。
4 知	話す・聞く	子どもが自分の考えを表現できるよう励ましたり、伝えてきたことを受け正めたりしている。
5 知	主体的な学習	子どもが宿題や家庭学習に取り組むよう環境を整えている。
6 知	学習規律	子どもがよい姿勢や態度で学校の学習に取り組むようはたらきかけている。
7 徳	ルールの遵守	子どもが学校や家庭のルールを守るようはたらきかけている。
8 徳	挨拶の習慣	子どもに挨拶の習慣をつけられるように意識して取り組んでいる。
9 徳	整理整頓	子どもが履物をそろえるよう家庭でも気をつけている。
10 徳	思いやりの心	子どもが人の嫌がることをしたり言ったりしないように話している。
11 徳	言葉づかい	子どもがその場に応じた言葉づかいができるようはたらきかけている。
12 徳	挑戦する心	子どもが苦手なことにも挑戦できるよう励ましている。
13 体	バランスのよい食事	子どもが家庭で好き嫌いせずに食べるよう支援している。
14 体	運動意欲	子どもが体を動かして遊ぶよう勧めている。
15 体	安全指導	子どもが交通ルールを守ってすごせるようはたらきかけている。
16 体	生活リズム	子どもが早寝早起きなどリズムを整えて生活できるよう工夫している。
17 開	登校意欲	子どもは楽しく登校しようとしている。
18 開	学校との信頼関係	学校に気軽に相談できる。
19 開	学校との連携	学校だより・学級だより・ホームページなどで、学校の情報を得ることができていい。
20 開	地域連携	地域の行事や教育活動に参加している。
21 開	活動参	学校行事やPTA行事に参加している。

保護者	教職員	児童	低学年	高学年
4.8	5.3	5.7	5.7	5.6
4.7	5.3	5.6	6.0	5.3
4.1	4.3	5.4	5.7	5.1
4.9	5	5.5	5.6	5.3
5	4.3	5.8	6.1	5.6
4.8	5.4	5.5	5.6	5.4
5.3	5.3	6.0	6.1	5.9
5.2	5.4	6.0	6.1	5.9
4	5.6	5.6	5.8	5.3
5.5	5.8	6.0	6.1	5.9
4.7	4.8	5.8	6.1	5.5
4.7	5.1	5.8	6.1	5.4
4.9	5.7	6.0	6.2	5.8
4.6	4.2	5.6	6.0	5.3
5.7	5.4	6.6	6.6	6.5
4.9	4.9	5.3	5.4	5.1
6	5.6	6.2	6.4	5.9
5	5.7	5.9	6.0	5.8
5.3	4.4			
4	4.4			
4.3	3.1			

学校だより（後期学校アンケート結果号）

【資料3】三者の実現度比較 □…知□…徳□…体□…独自の取組等

6.6	【保護者】		安全指導	【児童】		【教職員】		6.6
6.5								
6.4								
6.3								
6.2			登校意欲					
6.1								
6.0	登校意欲		ルールの遵守	挨拶の習慣	思いやりの心	バランスのよい食事		
5.9			学校との信頼関係					
5.8			主体的な学習	言葉づかい	挑戦する心	思いやりの心		
5.7	安全指導		意欲的な学習			バランスのよい食事	学校との信頼関係	
5.6			学習への粘り	整理整頓	運動意欲	整理整頓	登校意欲	
5.5	思いやりの心		話す・聞く	学習規律				
5.4			読書の習慣			学習規律	挨拶の習慣	安全指導
5.3	ルールの遵守	学校との連携		生活リズム		意欲的な学習	学習への粘り	ルールの遵守
5.2	挨拶の習慣					挑戦する心		
5.1						話す・聞く		
5.0	学校との信頼関係	主体的な学習				生活リズム		
4.9	話す・聞く	バランスのよい食事	生活リズム					
4.8	意欲的な学習	学習規律				言葉づかい		
4.7	学習への粘り	言葉づかい	挑戦する心					
4.6	運動意欲							
4.5								
4.4						学校との連携	地域連携	
4.3	活動参加					読書の習慣	主体的な学習	
4.2						運動意欲		
4.1	読書の習慣							
4.0	整理整頓	地域連携						
3.9								
【保護者】			【児童】		活動参加3.1	【教職員】		

【資料4】保護者・教職員のニーズ度比較

			保護者 重要度	保護者 実現度	保護者 ニーズ度	教職員 重要度	教職員 実現度	教職員 ニーズ度
1	知 意欲的な学習	子どもがめあてにむかって進んで学習に取り組めるように見守り、励ましている。	6.6	4.8	21.1	6.9	5.3	18.6
2	知 学習への粘り	子どもがねばり強く学習に取り組めるよう見守り、励ましている。	6.6	4.7	21.8	7	5.3	18.9
3	知 読書の習慣	子どもが家で本を読むよう勧めている。	6.1	4.1	23.8	6.8	4.3	25.2
4	知 話す・聞く	子どもが自分の考えを表現できるよう励ましたり、伝えてきたことを受け止めたりしている。	6.7	4.9	20.8	6.9	5	20.7
5	知 主体的な学習	子どもが宿題や家庭学習に取り組むよう環境を整えている。	6.5	5	19.5	6.7	4.3	24.8
6	知 学習規律	子どもがよい姿勢や態度で学校の学習に取り組むようはたらきかけている。	6.5	4.8	20.8	7	5.4	18.2
7	徳 ルールの遵守	子どもが学校や家庭のルールを守るようはたらきかけている。	6.7	5.3	18.1	6.9	5.3	18.6
8	徳 挨拶の習慣	子どもに挨拶の習慣をつけられるように意識して取り組んでいる。	6.7	5.2	18.8	6.9	5.4	17.9
9	徳 整理整頓	子どもが履物をそろえるよう家庭でも気をつけている。	6.2	4	24.8	6.8	5.6	16.3
10	徳 思いやりの心	子どもが人の嫌がることをしたり言ったりしないように話している。	6.8	5.5	17	7	5.8	15.4
11	徳 言葉づかい	子どもがその場に応じた言葉づかいができるようはたらきかけている。	6.5	4.7	21.5	6.9	4.8	22.1
12	徳 挑戦する心	子どもが苦手なことにも挑戦できるよう励ましている。	6.3	4.7	20.8	6.8	5.1	19.7
13	体 バランスのよい食事	子どもが家庭で好き嫌いせずに食べるよう支援している。	6.1	4.9	18.9	6.7	5.7	15.4
14	体 運動意欲	子どもが体を動かして遊ぶよう勧めている。	6.3	4.6	21.4	6.4	4.2	24.3
15	体 安全指導	子どもが交通ルールを守ってすごせるようはたらきかけている。	6.7	5.7	15.4	6.9	5.4	17.9
16	体 生活リズム	子どもが早寝早起きなどリズムを整えて生活できるよう工夫している。	6.6	4.9	20.5	6.6	4.9	20.5
17	開 登校意欲	子どもは楽しく登校しようとしている。	6.8	6	13.6	7	5.6	16.8
18	開 学校との信頼関係	学校に気軽に相談できる。	6.5	5	19.5	6.9	5.7	15.9
19	開 学校との連携	学校だより・学級だより・ホームページなどで、学校の情報を得ることができている。	6.3	5.3	17	6.5	4.4	23.4
20	開 地域連携	地域の行事や教育活動に参加している。	5.6	4	22.4	6.5	4.4	23.4
21	開 活動参加	学校行事やPTA行事に参加している。	5.6	4.3	20.7	6.3	3.1	30.9

【資料5】

令和元年度 後期学校アンケート実施報告書

1 令和元年度 重点評価項目

人とのつながりや心身の健康を大切にし、これからの中を創りだす子どもの育成

○学力の向上（校内研究の充実・家庭学習の連携） ○自己管理能力の育成（健康教育の推進・運動機会の充実）

○心身の健康と規範意識の醸成（道徳、人権教育の充実・文化的経験の推進） ○開かれた学校の推進（家庭や地域の連携・伝統文化の充実）

2

分野	評価項目	評価指標	分析(成果と課題)	分析を踏まえた取組の改善	
確かに学力	基礎基本の充実 書く力の育成	全国学力学習状況調査・ジョイントプログラムの結果 児童及び保護者、教職員アンケートの結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョイントプログラムやプレジョイントの結果では、どの学年も全市を少し上まわる結果で概ね満足できる結果となっている。また、少しずつではあるが上昇傾向にある。 ・教科間のばらつきが少し見られる。どの学年も国語科の結果は優れているが、算数科が弱い傾向である。全市平均並みか、少し上回る程度である。 ・学力の2極化の解消には至っていない。高学年ほど低位置が増える傾向がみられる。 ・絶対的な学習時間の確保が必要である。思考力や表現力は高いが、基礎的な知識などが不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲への実現度は高い結果ではあるが、低学年の意欲が少し低下傾向なので、興味関心を高められるような授業の導入の仕方を工夫するようとする。 ・学びの必然性を意識しながら、学習展開ができるように、導入や学習課題の設定の仕方など工夫していく。 ・家庭学習と授業との関連をより深め、家庭学習の充実に努めるが、家庭学習の量にかかわっては、保護者間で賛否があり、共通理解を求めることが難しい。 ・校内研究で、道徳を核とし、「話す・聞く力」を核に「言語能力の育成」に向けて授業の充実を進めてきた3年、一定の成果が出ていると感じている。学習で培った言語能力を様々な場面で活用できるように、学校教育活動全般でのカリキュラムをマネジメントしていく。 ・学力分析を行い実態を共有化して、6年間の見通しを持った取組の充実を図るとともに、特に算数科の授業の工夫を行う。 ・読書の充実に向けては、読書週間などの取組が生まれてきているので、今後の活動の充実につなげていく。 	
	読書活動の充実	学習中の児童の「話す・聞く」態度の変容	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の習慣は低学年ほど読書の機会が多い傾向は変わらない。図書室の活用も低学年は積極的に活用できている上、貸し出す数も多い傾向である。 		
	読書活動の充実	図書の貸し出し数の変容			
豊かな心	規範意識の醸成	児童及び保護者、教職員アンケートの結果	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や思いやりの心など、保護者の実現度が飛躍的に高まった。保護者もずいぶん意識をして子どもの関わっていただいていると感じる。 ・子どもの実現度は全体的に下がっている傾向であったが、実現度そのものが高い結果で推移している。 ・いじめアンケートなどでは、もめごとやいじめにつながる問題行動が明らかになっている。 ・細かなもめごとなどは後を絶たないが、大きな事案に達することはない。 ・豊かな心に関わる評価項目では、教職員と保護者の実現度がますます似通ってきていている。 ・あいさつやはきもの揃えなど児童の変容 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者との連携を大切にして、課題や現状を共通理解しながら子どもの育成に取り組んでいく。 ・教育相談の時間を十分確保し、子どもと担任とのつながりを深めたり、子どもの内面にかかわって、しっかりと寄り添うように学校運営を工夫して時間の確保に努める。 ・子ども同士の交流の機会（たてわり活動や委員会活動など）をますます大切にし、限られた時間の中でも活動方法を充実し計画的に進めていく。 ・系統性を意識した人権学習や道徳学習の取組が定着してきている。子どもたちが自分の思いや考えを交流する機会の充実をますます図っていく。 ・生徒指導上の問題やいじめの事案に対して、早期発見、早期対応で大きな事案には発展しないように努める。また、事象に対して組織で対応できるように強化を図る。 	
	健やかな体	健康教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 児童及び保護者、教職員アンケートの結果 生活アンケートの結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・寒い時期になったことが影響しているかと思われるが、運動しようと外出する傾向が少し下がっている。 ・冬休み明けの生活アンケートでは、大きな乱れは少ないが、夏休み明けに比べると、起きる時間、それに伴う、朝食摂取率が下がる傾向がある。 ・登下校は落ち着いてルールを守って行動できている児童が増えてきているが、中には、少々横着な行動が見られることがある。また、児童館からの下校や放課後の過ごし方についてはまだまだ課題が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活アンケート結果をより効果的に活用できるように、他校との実態とも比較しながら本校の実態を明らかにし、よりよい生活習慣の確立をめざす。 ・たてわり遊びやロング昼休みの定期的な実施を継続するとともに、遊び方の充実を図る。 ・命や体の大切さについて考える時間を定期的に設定し、自らの命を自らで守ろうとする心情を高める。また、危機管理意識を養っていくとともに、どの場面でも同じような行動ができるように継続した指導を行う。
	体力の向上	運動能力テストの結果			
学校独自の取組	伝統文化教育の充実	総合的な学習の時間の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの登校意欲が高いことや保護者もますますそのように認識いただいている結果となっている。 ・明徳農園での活動は、地域の方々の協力により、今年度も充実した機会となった。 ・わきの山については、シカの害が年々ひどくなっている。防鹿柵などで一定被害を防ぐようにしたが、まだまだ十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPなどの情報発信に学年間の差が少なくなるように各学年の取り組み方を検討する。 	
	地域との連携	運営協議会の方々の意見アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校づくりにむけて、HPや学校だよりに対する関心が高まっているように感じる。HPや学校だよりを話題にしていく機会が増えた。しかし、HPに關しては、配信した内容に学年間でのバラつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校門付近に設置した掲示板の活用方法をより工夫して、広く学校の取組を認識していただく。 	
	開かれた学校づくり	HPや学級だよりに対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の方々に学校の取組に対して、気にかけていただいたら、支援いただき学校運営を支えていただいている。 ・4年のめいとく学習での北稜高校との連携が定着し充実してきている。 ・保幼小連絡会も学期ごとに1回ずつ開催し、定着し、参加園も増加傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わきの山にかかわっては、地域の里山としての保存や活用を引き続き検討していくが、広く地域に関わってもらえるような手立てを考え、地域の里山としての機能を考える。 ・明徳農園の取組に対して、学習時間とのかかわりを考え、毎年、各学年のねらいに沿った取組となるよう、地域の方々とも相談しながら、取組を可視化して、計画立てていく。 ・地域との交流の機会を、年間計画の中で位置付けるとともに、末永く取組ができるように内容や時間など前年度の反省を生かして進めていく。 ・北稜高校との連携を引き続き行うとともに、学習効果がより高まるような取組を考えていく。 ・保幼小連絡会を関係のある保育所や幼稚園に広く呼びかけ、会の運営を寿美させていく。 	
	保幼小中連携	保幼小連絡会 小中連絡会 洛北のWAの取組			

【資料6】

令和元年度 後期 保護者アンケート記述に関して（要約・抜粋）

保護者アンケートの記述にあたり、ご回答をいただきありがとうございました。回答をいただいた505枚の中で63枚のアンケート用紙の自由記述欄にご記入をいただきました。

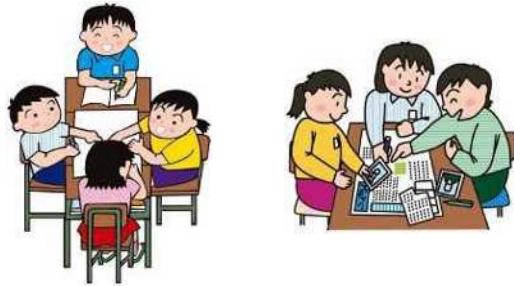
今回も学校の取組に対して、肯定的なご意見や感謝、労いのお言葉を多数いただきました。「子どもが学校生活を楽しんでいる」「先生に子どものことをよく理解してもらっている」というご感想を複数頂戴しています。

子どもたちが楽しく学校に通うことができ、教職員が児童一人ひとりに合った指導や助言ができるいると評価いただいていることは、とてもありがたく、励みになります。また、現在の取組に感謝の言葉をいただいていることは、これから取組を継続していく上で、方向性の確認になり、今後自信をもって取組を進めていくことができます。ありがとうございます。しかし、中には、反省すべきことや今後改めなければならないご指摘をいただいている、現状に満足することなく、成果と新たに見えてきた課題を今後の取組につないでいきたいと考えます。

以下に、課題や疑問、提案としていただいた内容について、ご回答させていただきます。全てをここで取り上げることはできませんので、個別にご確認になりたいことは、ご遠慮なく学校まで連絡をいただきますようお願いします。

★学校全体の取組に関するこ

- ①学校行事や参観日の日程について
- ②学習発表会のもち方や参観のマナーについて
- ③放課後まなび教室について
- ④算数検定、英語検定について



⇒① 学校行事の日程を月末月初は避けてほしいというご要望や、参観を学年ごとに分けると複数回仕事を休まなければならなくなるので一回にしてほしい、とのご意見をいただきました。

学校では、行事や参観等で、月に1回は学校での子どもたちの様子を参観いただく機会を設けるようにしています。他の様々な行事やその準備期間などを考慮して日程を決めています。保護者の多くがお仕事をお持ちの現状で、ご要望は以前からもいただいているところです。毎年準備期間や子どもの負担感、年間での日程調整など考慮しながら検討しています。しかしながら、お出ましににくい日程になってしまっていること申し訳ありません。次年度もご意見を踏まえながら検討していますが、なかなかご希望にお応えできていない場合は、ご容赦ください。

また、懇談会を伴う参観は、できるだけ多くの方にご参加いただきたいと考え、低学年、高学年等の枠で分けて設定していましたが、このようなご意見も参考にさせていただきます。

⇒② 学習発表会などで、保護者の参観マナーが悪く、見にくかったというご意見や保護者として気を付けなければならないというご感想をいただきました。子どもに背中を見せることができるよう、教職員も含めて、みなさんで見直していきたいですね。

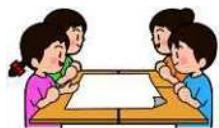
運動会や学習発表会の駐輪場を北校舎北側のみとさせていただきました。線に沿ってきれいに停めていただいたことで、駐輪場担当のPTAの方々のお仕事を軽減することができました。参観日の大人同士の私語も少なくなり、全体的には、保護者の皆様のマナーは年々向上しているように感じています。

学習発表会は、観覧席が少ないこともあります、ご迷惑をおかけしています。キャパシティに限りがあり、致し方ない部分はありますが、今後、学習発表会のもち方の再検討と共に、ご協力を呼びかけてまいります。

運動会、学習発表会が縮小されすぎるのは寂しいというご意見もいただきました。縮小することが目的ではなく、それぞれの行事に特化しすぎない取組を考えています。日々の学習との関連を密にし、その成果を発表する場としての位置付けを色濃くしてきておりますので、内容や形式が変化してきています。学習内容が増加し、授業時間も増えている中、日常の学習と行事を有効に結びつけることで、子どもたちの負担を増やすことなく、有意義な行事を実施できると考えています。各行事でつけていく力は大切にして取組を進めているつもりです。与えられている時間の中で、より効果のある取組を目指して、今後も検討をしながら進めていきたいと考えています。

⇒③放課後学び教室の回数をもっと増やしてほしいとのご意見をいただきました。

本校の放課後まなび教室の回数は、1年生を除いて学年2回の実施です。それは、一学年の参加人数が多いことと、会場となる教室がないという理由からです。現在22名のスタッフの方々が、シフトを組んで関わってくださっています。自主学習の点検以外にも、創作活動等、工夫をしながら内容を充実させていただいている。回数を増やしにくい現状がありますことをご了承ください。



⇒④漢字検定にむけて意欲的に取り組んでいるので、算数検定や英語検定も行ってほしいというご意見をいただきました。

次年度は、京都市の取組として「土曜学習」の枠組みがなくなります。それに伴い、本校でも月1回の土曜学習の実施を、「漢字検定」と「算数検定」の会場として実施し、それぞれ全校児童の希望者が受検できる機会を年に1回ずつ土曜日に設定しようと検討しています。

★教職員との関わりに関するこ

⇒ 今回も一部の教員の指導中の言葉遣いや不適切な言動についてご指摘をいただきました。

教職員は子ども達に自分の背中を見せて、子どもたちを育むことができるよう心がけているところです。言葉遣いや不適切な発言がありましたこと、誠に申し訳ございませんでした。お詫び申し上げます。教職員の言動で、疑問や不安に思われることがありましたら、ぜひその都度お知らせください。具体的な状況を確認して早急に対応いたします。



★PTAに関するこ

⇒ 退会の方法を教えてほしい。PTA役員の負担が多すぎる。というご質問、ご意見をいただいている。

いつもPTA活動にご協力いただき、ありがとうございます。PTA活動への参加は任意であるため、他校でも退会したい、入会したくないというお申し出があるとは聞いています。本校でも、PTA本部役員の皆様や各委員会代表の皆様に大変お世話になって教育活動が成り立っています。現段階では、それぞれのご家庭の事情がある中、ご負担を強いる場面があることを申し訳なく思っています。

仕事の内容の軽減については、今年度もPTA本部役員を中心に、統合、削減、合理化を考えています。実際に負担は軽減されていくことだと思います。それぞれのご事情の中で、できる範囲で、子どもたちのためにご協力いただければありがたいです。

また、PTA会費は、昨年度は教室のカーテンクリーニング、トイレ掃除の一部、部活動設備の購入の一部に充てさせていただき、今年度は、理科室にエアコンを導入していただきました。ありがとうございました。

退会の希望があることは、PTA会長に伝えます。退会方法などPTAにて検討いただきます。

★学校運営協議会理事・推進委員の皆様から

学校の取組や児童の様子について、(確かな学力・豊かな心・健やかな身体)の3観点から、全て記述式でご意見をいただきました。



◆確かな学力

地域の学習に取り組んでいる姿を評価していただきました。今年度は、6年生が総合的な学習の時間に岩倉の自然や伝統行事、寺社について調べ、地域の方々にご協力いただきました。子どもたちが自分たちの地域について知り、地域の人とつながり、地域を誇りに思うことが、これから生きていく上での支えになることと考えています。

読書活動について、読み聞かせを熱心に聞いている姿、自分の読んでいる本を紹介する姿など、本に親しんでいる児童が多いことを評価していただきました。読書への興味は個人差が大きいとのご指摘もあります。少しでも多くの児童が読書に親しめるよう、今後も読書活動の推進に努めてまいります。読み聞かせボランティアの皆様による朝の読み聞かせ、年2回の長期休業前の季節の読み聞かせも、とても効果的な取組となっており、感謝しています。今後共どうぞよろしくお願ひいたします。

放課後まなび教室では、宿題への取り組み方に対し、依然、「済ませればよい」という児童があり、取り組む姿勢に差があるとのご指摘をいただいています。家庭学習の充実や時間確保と共に、自主的に学習に取り組む姿勢が明徳小学校の児童の課題であると捉えています。宿題としての家庭学習に対しては、保護者の方々から賛否のご意見があり難しいところですが、自主学習の取組の推進を今後の課題としていきます。

◆豊かな心

挨拶については、「あいさつは返すが自分からはできない。」「30%位の子はあいさつができない。」「高学年の方があいさつができる。」という様子をお伝えいただいています。

今年度は、教職員自身もあいさつを意識して重点的に取り組んできましたが、結果が、昨年また前期と変わらないものであったことは残念です。しかし。あいさつを無視しているように見える子でも、よく見ると小さく口が動いていたり、目であいさつを返していたりする様子がみられます。あいさつばかりは、相手に伝わらなければ、互いのつながりを確認したり深めたりすることにはなりません。人間関係の構築はまず、あいさつから。「あいさつの意味」を伝えつつ、「あいさつをしてよかったです」と思える経験を増やせる関係づくりにも努めていきたいと考えています。

◆健やかな体

登校時は、交通ルールを守れているものの、放課後の自転車の乗り方が危険であるとご指摘をいただきました。毎月の安全教育に加え、4年生では自転車教室にも取り組んでいますが、下校時の横断歩道の渡り方や自転車の乗り方には依然課題があるようです。この実態を受け止め、今後の安全指導に取り組んでいくとともに、どの場面でも正しい判断と行動ができるよう、自律できる力の育成に努めています。ご家庭でもご指導いただきますようお願いいたします。

率直なご意見やご感想をありがとうございました。成果と課題を明確にして、今後の取組を進めていきます。また、教職員一丸となって「子どものための子どもへの教育」を、ますます発展させていきたいと思います。今後ともよろしくお願ひします。



令和元年度 学校アンケート 設問内容一覧

項目		子ども	保護者	教職員
1	知	意欲的な学習 めあてにむかってすすんで学習に取り組んでいる。	保護者として、子どもがめあてにむかって進んで学習に取り組めるように見守り、励ましている。	めあてを明確にし、児童が意欲的に学習に取り組めるように工夫している。
2		学習への粘り わかるまでねばり強く学習に取り組んでいる。	保護者として、子どもがねばり強く学習に取り組めるよう見守り、励ましている。	児童がねばり強く学習に取り組めるよう、支援している。
3		読書の習慣 学校や家で本を読んでいる。	子どもが家で本を読むよう勧めている。	学校図書館を活用し、読書活動の推進にむけて取り組んでいる。
4		話す・聞く 自分の考えを話したり書いたりして相手に伝えている。	保護者として、子どもが自分の考えを表現できるよう励ましたり、伝えてきたことを受け止めたりしている。	児童に書く力、話す力がつくよう、場の設定を工夫している。
5		主体的な学習 宿題や家庭学習にすすんで取り組んでいる。	保護者として、子どもが宿題や家庭学習に取り組むよう環境を整えている。	児童がすすんで家庭学習に取り組めるように指導している。
6		学習規律 先生や友達の話をしっかりと聞き、よい姿勢や態度で学習に取り組んでいる。	保護者として、子どもがよい姿勢や態度で学校の学習に取り組むようはたらきかけている。	学習規律を整え、児童が落ち着いて学習に取り組むよう指導している。
7	徳	ルールの遵守 学校や家庭のルールを守っている。	保護者として、子どもが学校や家庭のルールを守るようはたらきかけている。	児童が学校のルールを守るよう指導している。
8		挨拶の習慣 自分からすすんで、あいさつをしている。	子どもに挨拶の習慣をつけられるよう家庭でも意識して取り組んでいる。	児童が気持ちよく挨拶できるよう指導している。
9		整理整頓 すすんでスリッパやはきものをそろえている。	子どもが履物をそろえるよう家庭でも気をつけている。	児童が履物をそろえるなど、人のことを考えて行動するよう指導している。
10		思いやりの心 人の嫌がることをしたり、言ったりしていない。	子どもが人の嫌がることをしたり言ったりしないように家庭でも話している。	児童が仲間の人権を大切にして接するよう指導している。
11		言葉づかい 言葉づかいに気をつけている。	子どもがその場に応じた言葉づかいができるよう家庭ではたらきかけている。	児童が場や相手に応じた言葉遣いができるよう指導している。
12		挑戦する心 苦手なことにも挑戦しようとしている。	子どもが苦手なことにも挑戦できるよう家庭でも励ましている。	児童が苦手なことにも挑戦しようとするとする態度を育んでいる。
13	体	バランスのよい食事 給食を好き嫌いせず、食べている。	子どもが家庭で好き嫌いせずに食べるよう支援している。	好き嫌いをせず、しっかりと給食を食べるよう指導している。
14		運動意欲 外遊びなど、すすんで体を動かしている。	子どもが体を動かして遊ぶよう家庭でも勧めている。	積極的に外遊びをしたり、身体を動かしたりできるよう取組を工夫している。
15		安全指導 交通ルールを守って安全に登下校している。	子どもが交通ルールを守ってすごせるよう家庭ではたらきかけている。	児童が安全に行動できるよう指導している。
16		生活リズム 早寝早起きなど1日の生活リズムを大切にすごしている。	子どもが早寝早起きなどリズムを整えて生活できるよう工夫している。	児童に生活リズムを整えることが大切であることを指導している。
17	開かれた学校づくり	登校意欲 楽しく登校している。	子どもは楽しく登校しようとしている。	児童が楽しく登校できるよう居場所づくりを心がけている。
18		学校との信頼関係 先生に気軽に話しかけることができる。	学校に気軽に相談できる。	児童や保護者が話しやすい雰囲気づくりを心がけている。
19		学校との連携	学校だより・学級だより・ホームページなどで、学校の情報を得ることができている。	学年だより、学級だより、ホームページなどで、学校の様子を積極的に発信している。
20		地域連携 地域の行事や教育活動に参加している。	地域の行事や教育活動に参加している。	地域と連携をとりながら、教育活動をすすめている。
21		活動参加 学校行事やPTA行事に参加している。	学校行事やPTA行事に参加している。	地域行事やPTA行事に参加している。